

市民と医師がホンネで語る

第2回

医療危機を 考える 懇談会

5月23日(土)
午後1時30分～4時

神奈川県地域労働文化会館

(神奈川県自治労会館2階)

横浜市南区高根町1-3 ☎045(251)1888

横浜市営地下鉄 阪東橋駅下車徒歩2分

京浜急行 黄金町駅下車徒歩8分

資料代 500円

公立病院が赤字で何故いけない！？

2007年12月、総務省は公立病院を抱える全国の自治体に対して「公立病院改革ガイドライン」を通知し、①経営の効率化 ②経営形態の見直し(民営化) ③再編・ネットワーク化について、2008年度中での改革プランを義務づけました。この改革プランをめぐる、全国各地で地域住民からの公的医療を守れという声が高まっています。今回の医療懇談会では、各地での事例報告を基に、参加者の皆さまとともに考え、検証してみたいと思います。

◆問題提起

池川 明氏 (池川クリニック院長)

◆現場からの事例報告

1. 指定管理者制度への移行と闘っている横須賀市民病院から
2. 独立行政法人へ移行を迫られている県立足柄上病院から
3. 県立病院の存続を求めて県民運動を闘っている三重県から

◆会場参加者との討論

主催 医療危機を考える懇談会

代表 原田 章弘(横須賀市議) 鈴木 登(医療問題研究会)

澤田石 順(鶴巻温泉病院医師) 池川 明(産科医)

連絡先 依岡 桂美 ☎090-9689-1443 e-Mail fzp05704@ybb.ne.jp